

● 8月18日(木) 快晴 大沼・駒ヶ岳(馬の背まで900m)

○ 火山の入山規制で途中までしか登れなかったが、予期以上に素晴らしい山だった。

・ 5時45分起床。まだお日様が顔を出していない。だいぶ日の出が遅くなったな。

・ しばらくして目の前の海が陽の光でどんどん輝いてきた。

台風一過の無風快晴で朝が明けた！

駒ヶ岳が朝日に輝いて聳えているのが見える。

昨日は台風の大雨で良く見られなかったが、この道の駅「鹿部間歇泉公園」を改めて見てみると、最近開設された小さい駅だが、こじんまりしていてきれいだし、もちろんトイレはウオッシュレットだしなかなか良い駅だ。昨夜泊まったのは私を含めて6台だった。



・ ここから駒ヶ岳の入口まで1時間くらいで行けそうだ。駒ヶ岳の入山が9時からだと云うので、ここを8時頃出ればいいので今朝はのんびりできる。朝食を済ませ、昨夜寝ながら考えた車内の改装をしたりして時間を調整し、7時半過ぎに道の駅を出て駒ヶ岳へ向かった。

・ 道道43号線を大沼公園に向けて走り、湖岸を通過して赤井川へ。公園に近づくにつれて駒ヶ岳のあの美しい姿がどんどん大きくなって迫ってくる。何ともいえぬ爽快なドライブだ。



・ 登山道の入り口に8時過ぎに着いたが、9時まで入山規制と云っていたゲートは開いていて通行自由だ。最近ゲートを閉めたような形跡もない。広報では「入山は9時から15時まで」と云っているが、実際に管理はルーズで何もやっていないようだ。

・ 登山道を10分ほど走って登って来た6合目駐車場には、すでに車が4台も止まっている。ここは標高約500mの広い駐車場で、目の前に駒ヶ岳が聳えて見え、登山が許可されている標高約900mの馬の背あたりも眺められる。

管理棟らしきものもあるが人の気配は無い。



・8時半過ぎに登り始めた。火山礫と火山砂の混じった火山特有の登山道で、車も通れるくらいに広く一定の斜度を保った上り坂が延々と続いている。目の前には駒ヶ岳、振り返れば大沼公園が美しく広がって見える快適な道だが、周りが一面低木と草付きなので日差しを遮るものが無く、道からの反射もあり、炎天下の厳しい登りが続いたので参った。ただ道端にはずっとシラタマノキが白い可憐な花を咲かせ気持ちを和らげてくれた。



・途中で下ってくる人と2回位すれ違った。入山制限の9時を待たず早朝から登った人達だ。「馬の背の先まで登って来た」と話す人もあり、入山規制の時間も場所もいかげんだと思われる。



・9時45分、標高差約400mを登り切り標高約900mの馬の背に到着した。広い肩の広場になっていて入山許可はここまでで、周りにロープが張られている。前方に監視カメラらしきものが設置された小高いピークがあり、ここまでしっかり

りしたトレースがついていて、ロープを跨いだらすぐに行けそうだ。さっきの人はあそこまで行ったんだな。早朝で誰もいなければちょっと行ってみても良いが、今この馬の背には人がかなりいるので、ちょっとロープを跨ぐことは難しいな。

・馬の背からの眺めは素晴らしい！目の前には真っ青な青空を突き刺すように聳える剣ヶ峰、その右には外輪山の砂原岳が展開している。剣ヶ峰はイタリアのドロミテを見ているような異様な岸壁でそそり立っていて、この景色、何時間眺めていても飽きない。振り返れば下の方に大小数個の湖が光る大沼公園広がって見える。駒ヶ岳に登れなくてもこ馬の背からの絶景が予期以上にすばらしく、ここで十分満足した。足元にはイワギキョウが可憐に咲いている。





・群馬・桐生から来ているという青年が話しかけて来て、「ここは好きで何回も来ている。先日は剣ヶ峰を登り外輪山を歩いて砂原岳から砂原に下った」と。「入山規制は自己責任だから特に注意されない」と云っていた。おいおいそれはルール違反だろうに。



・飽きることのない剣ヶ峰の絶景を眺めているうちに、周りから雲が湧いてきた。台風が去って湿度が多いのだろう、やはり晴天は朝だけだな。雲は徐々に多くなり剣ヶ峰も時々雲の中に入ようになった。小一時間景色を十分楽しんだので馬の背を後にして下山し40分で6合目駐車場に着いた。

・下り道では、これから登ってゆく大勢の登山者やハイカーとすれ違った。雲が出て来ているのでこれから登って剣ヶ峰が見えるかな？ 山はやはり朝早く来ないと……。馬の背で一緒になった群馬の青年が「この駒ヶ岳は実に良い山だ。百名山の一つにしても良いくらいだ」と云っていたが、私も同感、実に良い山だった。



・砂埃と汗にまみれた体を流したくて、登山道入り口にある「駒ヶ峯温泉・ちゃっぷりん館」に寄った。ここは以前にも来たことがあるので懐かしい。ゆっくりと汗を流しレストランでおそばを食べた。久しぶりのおそばは旨かった。

・このまま国道5号線を南下すればすぐに函館に着くが、帰りのフェリーまでまだ数日間あるので、明日天気が良ければ恵山に登ってみようと思い、今朝来た道を鹿部まで戻り太平洋の海岸線を走る国道278号線を、美しい海を眺めながら恵山に向かって快走した。

・走ってすぐ道の駅「縄文ロマン・南かやべ」があったので寄ってみた。最近できたコンクリート作りの立派な駅で、縄文時代の国宝「中空土偶」をはじめ地域の貴重な縄文文化遺産を展示公開する展示室がある。なかなかまじめな駅だ。



展示館は当然有料だし、さほど興味もないので、入館はしなかった。
(道の駅のHPから写真をいただいたのでご参考までに)



・この国道 278 号線は、以前は森町から恵山町まで途中で道の駅が「さわら」しか無かったが、最近「鹿部」と「茅部」に新設され、かなり便利になった。

赤茶けた溶岩の塊のような異様な姿の恵山がだんだん近くに見えて来て 4 時前に道の駅「なとわ・えさん」に着いた。

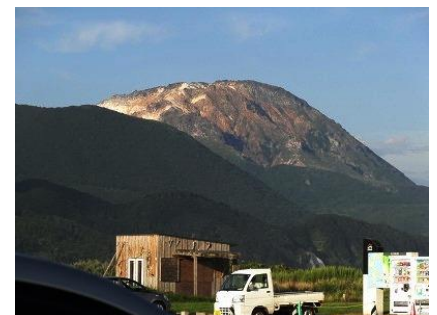


この駅は 8 年前にも来ているが、あまり変わっていない。

その時隣に止まったご夫婦に魚の煮付けやヒジキの煮物をいただいたことが昨日のように思い出される。



北の方には恵山が夕陽に輝いていて
「明日は登りに来いよ」と呼びかけてくれている。



・夕食を摂っていると突如おびただしい数のカモメが頭上を舞い始めた。
いったいどうしたのだろうか？

そのうち夕暮れとともにカモメもいなくなり、今日の駒ヶ岳の残像を
思い起こしながら寝に着いた。



明日も天気は持ちそうなので 恵山に登れそうだ。